

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 7 回幹事会議事録

日 時：平成 28 年 5 月 20 日（金）14:00～17:20

場 所：土木学会 B 会議室

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，~~池田幹事~~，大久保幹事，葛西幹事，~~斎藤(成)幹事~~，
齋藤(隆)幹事，下村幹事，平幹事，中村幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，~~溝江幹事~~，~~久米村事務局~~

配布資料：

- 資料 幹7-0 平成27・28年度第7回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹7-1 平成27・28年度第6回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹7-2-1 平成27・28年度幹事会名簿
- 資料 幹7-2-2 複合構造委員会組織図
- 資料 幹7-2-3 幹事会作業分担（案）
- 資料 幹7-2-4 平成27・28年度委員会名簿
- 資料 幹7-3 幹事会スケジュール
- 資料 幹7-4-1 平成28年度委員会予算（案）
- 資料 幹7-4-2 平成27年度委員会会計報告
- 資料 幹7-5-1 H27年度委員会活動度個別調査書確認の依頼_複合構造
- 資料 幹7-5-2 H27年度委員会活動度個別調査書_複合構造
- 資料 幹7-5-3 参考資料1_情報発信数の数え方（H27年度）
- 資料 幹7-6 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム準備
- 資料 幹7-7 論文集特集号準備状況 牧先生
- 資料 幹7-8 平成28年度全国大会共通セッションプログラム案
- 資料 幹7-9 平成28年度全国大会研究討論会草案
- 資料 幹7-10 出版関係
- 資料 幹7-11-0 小委員会一覧
- 資料 幹7-11-1 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 資料 幹7-11-2 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会
- 資料 幹7-11-3 H106 FRPによる補修・補強指針作成小委員会
- 資料 幹7-11-4 H150 各種ずれ止めの性能設計調査研究小委員会
- 資料 幹7-11-5 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- 資料 幹7-11-6 H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会
- 資料 幹7-11-7 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水研究小委員会
- 資料 幹7-11-8 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープ研究小委員会
- 資料 幹7-11-9 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 資料 幹7-12 第3回委員会議事次第（案）
- 資料 幹7-13-1 H28_審査選考結果報告
- 資料 幹7-13-2 H28_審査選考結果_別紙資料
- 資料 幹7-13-3 水工学委員会からのメール
- 資料 幹7-14 10周年記念式典に関する資料
- 資料 幹7-15-1 H27自己評価とH28計画の依頼資料*
- 資料 幹7-15-2 H27自己評価とH28計画の記入資料*
- 資料 幹7-15-3 平成28年度「JSCE2015に基づく活動計画」募集について

資料 幹7-16-1 委員構成

資料 幹7-16-2 研究企画委員会規則 (H25.05.10)

資料 幹7-16-3 研究企画委員会 分野選出委員 交代ルール

議事内容：

0. 委員長挨拶

奥井委員長より、幹事会開催にあたり挨拶があった。

1. 第6回幹事会議事録案の確認 (資料 幹7-1)

滝本幹事長より、資料に沿って説明があり承認された。また、奥井委員長より以下の補足説明があった。

- ・日中ジョイントシンポジウム開催にあたり、鋼構造委員会から委員を2名選出した。

2. 平成28年度複合構造委員会・幹事会体制 (資料 幹7-2-1～7-2-3)

滝本幹事長より、平成28年度委員会・幹事会の体制について説明があった。名簿に修正がある場合は連絡をお願いしたい。

3. 平成28年度複合構造委員会・幹事会体制 (資料 幹7-3)

滝本幹事長より、平成28年度幹事会スケジュールの説明があった。9/8の幹事会は土木学会開催期間中に行い、会場は仙台国際センターを予定している。

4. 平成27年度委員会決算および平成28年度委員会予算(案) (資料 幹7-4-1, 7-4-2)

滝本幹事長より、平成27年度委員会決算およびH28年度予算(案)について説明があった。決算については、11万円程度の残となった。今年度の予算(案)は調査費98万円で、現在のところ拡充分は未定である。なお、H101複合構造標準示方書は今年度から活動を始めており、例年通りの予算案とした。また、土木学会論文集A1特集号は校正費で30万程度発生し、これに旅費が加わるため、増額することとなった。

5. 平成27年度委員会活動評価 (資料 幹7-5-1～7-5-5)

滝本幹事長より、H27年度の活動度個別調査結果について説明があった。今年度は評価が2545で初めてAランクとなった(昨年評価1403)。この評価はH26年度の実績に当てはめると29委員会中8位となる。活動度評価に関するアンケートを記入する必要がある、奥井委員長に確認後提出する。

6. 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム (資料 幹7-6)

大久保幹事から第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム開催要領について説明があった。応募締め切りが5/27(金)となっており、この時点で投稿数が少ないようであれば応募期間を延長する。その際、親委員会、関連委員会、過去の投稿者など、久米村事務局と送付先を確認して案内すること。

7. 土木学会論文集A1特集号：複合構造 (資料 幹7-7)

牧幹事より、資料に沿って説明があった。校正は完了しており、プレビューで最終チェックして完成となる。6/31にアップされる予定である。今後の予定として、第4巻の企画を開始している。なお、委員長の交代については承認済である。

8. 平成28年度全国大会・年次学術講演会 (資料 幹7-8)

松本幹事より、資料に沿って説明があった。投稿数が41編でプログラムを作成した。1セッション当たり7編の発表で全部で6セッションとなった。セッションは昨年度のように時間帯が重なることなく設定できた。座長を選出しているので、よろしくお願いいたします。

9. 平成28年度全国大会・研究討論会（資料 幹7-9）

齋藤(隆)幹事より、研究討論会の草案について説明があった。開催は大会3日目(9/9)13:00～15:00となる。タイトルは「困った時の複合構造物 施工性の改善と今後の課題」とし、座長は奥井委員長に願う。首都高速道路、大林組、鹿島建設、橋建協から話題提供者を考えている。提供者は現在調整中である。

10. 出版関係（資料 幹7-10）

大久保幹事より、資料に沿って説明があった。土木学会以外の会場で講習会を行う際、複合関連の出版物を購入できる申込み用紙については、合成床版設計・施工指針(案)の講習会やFRPシンポジウムで実施できるように調整をする。見本はできる限り持って行くようにする。

11. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹7-11-1）

西崎副委員長より、資料に沿って説明があった。これまで幹事会を2回開催した。今後はコアメンバーを選出して、検討項目や課題の抽出を行う予定である。6/30の親委員会でメンバーの承認をいただきたい。

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会委員会（資料 幹7-11-2）

葛西幹事より、資料に沿って説明があった。今回の改訂はマイナーチェンジが基本であり、どの程度の量を改定するかを検討している。9月の原稿完成目標とし各章の執筆者を決定した。出版はH29年3月を目標にしている。

(3) H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会（資料 幹7-11-3）

中村幹事より、資料に沿って説明があった。4/7に第1回を開催し研究テーマについて説明した。活動は4つのWG構成とし、共通事項、鋼、コンクリート、材料について検討する予定である。発刊は2年後を目指す。新委員として、北海道大学の上田先生とコニシの堀井氏を追加したいので、6/30の親委員会で承認をいただきたい。

(4) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会（資料 幹7-11-4）

平幹事より、資料に沿って説明があった。5/19に第4回委員会を開催して、役割に沿った検討項目について議論した。次回は6/29の予定である。

(5) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料 幹7-11-5）

牧幹事より、資料に沿って説明があった。第5回委員会を5/27-28に開催予定である。各WGでは、材料損傷の観点からの整理と接合部のFEM解析を実施している。

(6) H213 構造物の更新・改築技術研究小委員会（資料 幹7-11-6）

滝本幹事より、資料に沿って説明があった。次回は7/22に開催予定で、今後は、報告書のまとめ作業に入る。

(7) H214 維持管理を考慮した複合構造物の防水・排水研究小委員会（資料 幹7-11-7）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。7月に第4回委員会が開催予定である。新委員として、佐藤氏(秩父産業)と山脇氏(三菱樹脂)が追加となる。

(8) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープ研究小委員会 (資料 幹7-11-8)

下村幹事より、資料に沿って説明があった。4/28締め切りで委員公募は13名程度で、現在調整中の方が数名いる。5/末までに委員構成を固めて6月に第1回委員会を開催する予定である。

(9) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会 (資料 幹7-11-9)

松本幹事より、資料に沿って説明があった。4/末に公募を締め切り、30名程度のメンバーが集まった。6/28に第1回委員会を開催予定で、趣旨説明、幹事団による話題提供を行い、共通認識を持つようにする。

1 2. 第3回委員会議事次第 (資料 幹7-12)

滝本幹事長より、資料に沿って議事次第の説明があり、以下の事項が確認された。

- ・H101とH106は委員の追加があるので審議事項とする。
- ・終了委員会報告は、H181合成床版設計・施工指針(案) とする。
- ・報告事項のその他で、奥井委員長より第1回日中ジョイントシンポジウムの報告をする。

1 3. 平成28年度重点研究課題(研究助成金)の選考結果他 (資料 幹7-13-1～7-13-3)

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。採択は2件であった。今年度は水工学委員会と連携することを考えていたが、水工学委員会は独自で取り組むとのことで断りがあった。今後の進め方として、単独か他委員会と連携するかを決める必要がある。小委員会で考えていることや熊本地震の関連させたテーマなど、次回の幹事会までに各自テーマを考えることとなった。

1 4. 10周年記念式典 (資料 幹7-14)

西崎副委員長より、4/28に開催された実行委員会の内容を資料に沿って説明があった。主な内容は以下の通りである。

- ・この10年間の活動を記念報告書としてまとめることとなった。内容は、委員会活動報告、常設小委員会活動報告、研究小委員会活動報告、研究討論会報告、出版物実績報告とし、特に、歴代委員長(連合小委員会委員長)にまとめや苦労話など、複合構造委員会に対する思いを執筆いただく。編集後記は歴代幹事長が執筆する。原稿提出を9/末、11/初に印刷の予定である。
- ・記念式典は12/16に開催する。内容は活動報告やパネルディスカッションなどを中心に考える。参加費用は検討中。
- ・対象は複合に関わる方を対象とするが、他委員会からの来賓も考える。

今後の予定として、記念事業(記念報告書、記念式典)の全体概要の確認、記念式典のパネルディスカッションの企画を行う。なお、パネルディスカッションの企画に当たっては、滝本幹事長と溝江幹事が担当する。

1 5. JSCE2015自己評価について (資料 幹7-15-1～7-15-3)

滝本幹事長より、2015年度の達成評価と今年度の計画について説明があった。対象顧客と活動のアウトプットを追加した。対象は市民ではなく土木技術者となる。また、アクションプランについて活動内容と達成度を記入しているので、内容を確認し意見があればお願いしたい。6/10に提出予定である。

JSCE2015に基づく活動計画募集も助成(10万円/1件)があるので、あてはまるものがあれば意見がほしい。6/13までに提出予定である。

16. その他（資料 幹7-16-1～7-16-3, 幹7-17）

(1) 研究企画委員会の委員選出について

研究企画委員会に複合構造委員会から委員を選出することになり、斉藤(成)幹事が参加することになった

(2) 外部からの問い合わせについて

FRP 床版について橋梁新聞から問い合わせがあり、対応手順に従って対応した。記事は 4/21 付けの新聞に掲載されている。

以 上

（記録・文責：大久保）